

賛成？反対？ライン

Class _____ No. _____ Name _____

技能・形態・時間	話す(意見) クラス全体 5分
この帯のねらい	お題(Summer is better than winter.など)に賛成なら窓側、反対なら廊下側へ移動し、近くの 人と理由を英語で言い合う。体の移動で立場を可視化してから話す、意見表明の帯。

やり方

毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Today’s statement is Agree or disagree?
先生がお題を発表(例: Cats are better than dogs.)

2

Move! Agree side or disagree side.
賛成は窓側・反対は廊下側へ移動(迷いは真ん中OK)

3

Tell your neighbors why. “I agree because ~.”
同じ側の近くの人と理由を言い合う(30秒)

4

One voice from each side!
各サイドから1人ずつ全体に理由を発表→気が変わったら移動してよい

ルール

・移動は静かに素早く(10秒以内)

・理由は because で1文以上

・相手の意見を笑わない。「なるほど」は Oh, I see!

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	今日のお題と自分の立場	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！

お題を今週の文法に寄せると運用練習になる(比較の週: Math is more useful than English./仮定法の週: If I had a time machine, I would go to the future.に賛成?)。最後の「気が変わったら移動」で実際に動く生徒が出ると、意見が人を動かす体験になる。

先生へ(この帯活動の運用)

意見表明のハードルを「体の移動」で下げる帯。立場を先に体で示すので、理由を話すときには心理的な逃げ場がなくなり、全員が当事者になる。お題は正解のない二択(食べ物・季節・school rules)から始め、慣れたら社会的な話題へ。ディベート(教科書のディスカッション単元)への最短の助走になる。